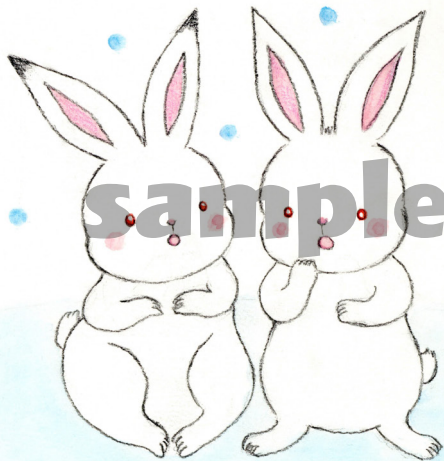


雪ぶとんの下で

チロとルロの小さなものがたり



文・絵 なつ ふみか

雪ぶとんの下で

千ロとルロの小さなものがたり



sample

文・絵 なつふみか



雪ゆきのつとたしずかな朝あさ。

野のうさぎの千ロヒルロは。

やわらかなみぎざしのシャワーをあびながら、
雪ゆきぶとんの上うへをかけっこしていました。

きゅっ きゅっ きゅっ きゅっ

雪ゆきぶとんは、あっというまに小こさな足あしもようて
いっばいになりました。

sample



ヒュルルルー。

つめたい風がふくと、えだ上の雪が、
いっせいにまいちりました。

まるで、ダイヤモンドのつぶのよう…。

それは、チロとルロのかおやからだにも、
キラキラとふりそそぎました。

sample



千ロ「ねえ、ルロ、この雪……あま、よ。」

ルロ「うん。きつとこれ、お母さんがいった、

「おさとう雪だよ。」

千ロ「おさとう雪！」

ふゆ 冬のお空からの、おくりものだよ、

「お母さん、いったね。」

そのとき、

かすかにだれかの、はなし声か、

きこえたようでした。

sample

ためしよみ

は

ここまでです